

## EVENT

### 『アフリカヘリテイジフェスティバル in 東京』 アフリカのパワフルな魅力が詰まった3日間

アフリカの魅力を知ってもらおうと、新宿中央公園で3日間わたってフェスティバルが開かれる。アフリカ各地の料理が味わえるフードコートや、カラフルな布や服、民芸品など多種多様なアフリカ雑貨が並ぶバザール、伝統的な打楽器「ジェンベ」を習えるワークショップなど、盛りだくさんの催しでアフリカの伝統と文化を存分に体験できる。毎年恒例のライブステージ・パフォーマンスにはアフリカンミュージックとダンスのアーティストたちが大集結! パワフルな生演奏は必見だ。知らない国の文化に触れるのはいつだってエキサイティングなこと。家族や友人とアフリカの魅力を発見しに出かけてみてはいかが。



会期:  
7月14日(土)、15日(日)、16日(月・祝)  
10:00~21:00(最終日は17:30まで)  
会場:新宿中央公園・水の広場(東京都)  
問い合わせ:アフリカヘリテイジコミュニティ  
TEL:045-479-2275  
<http://africah.web.fc2.com/>

## CONTEST

### 『持続可能な開発目標(SDGs) 学生フォトコンテスト2018』 撮ってみよう! 日本で見つけたSDGs

テーマは「身近なところから持続可能な開発目標を考え、写真で発信し、多くの人たちと共有する」こと。3回目となる今年から高校生も対象となった。募集しているのは、17あるSDGsのゴールの一つをテーマにした、ジャーナリスティックな報道写真や達成に向けた思いを表現したクリエイティブな作品。足元の課題の解決にはどうしたらいいのか、これからの社会を形づくる目標の達成に、私たちは行動や考え方をどのように変えていけばいいのか、また、どうすれば友人、家族、コミュニティにSDGsを知ってもらい、行動を促すことができるのか——世界を変えるアイデアを写真に込めて、コンテストに応募しよう。



©外山慎一郎(日本)『CRYSTAL』、2016年入賞作品

募集期間:2018年8月20日(月)まで  
結果発表は10月24日(水)の国連デー  
前後を予定  
応募資格:大学生・短大生・大学院生・  
専門学校生、および高校生(日本で学  
ぶ外国籍の学生・生徒を含む)\*応募  
は日本国内で撮影された写真に限る。  
主催:国連広報センター、上智大学



コンテストの詳細は  
公式ホームページで  
ご確認ください。

## 新着情報

# イチオシ!

## MOVIE

### 『人間機械』

巨大繊維工場の"機械たち"の姿。  
許しがたい現実の、美しい記録映画

リュミエール兄弟の『工場の出口』にはじまり『メトロポリス』や『モダン・タイムス』など、映画は絶えず人が生きて働くことの意味を問い続けてきた。本作もまた、人と機械をめぐる関係を重厚なリアリズムで描き、第三世界の過酷な現実へと観る者を引きずり込んでいく。舞台はインド北西部にある巨大な繊維工場。内部に入っていくカメラがとらえるのは、劣悪な環境で働く労働者たちの姿だ。グローバル経済の下、幼い子どもたちすら巻き込む労使の不平等、前近代的な労働の実態を告発する一方で、黙々と働く彼らの様子を淡々とつないだ画面には、触れてはならないような静謐な美しさが漂う。「記録」と「芸術」の境界を横断する新鋭、ラーフル・ジャインの問題作。



2016年/インド、ドイツ、フィンランド/71分  
監督:ラーフル・ジャイン  
公開:2018年7月下旬、渋谷ユウロス  
ベースほかで全国順次ロードショー  
<http://www.ivc-tokyo.co.jp/ningenkikai/>

© 2016 JANN PICTURES, PALLAS FILM, IV FILMS LTD

## BOOK

### 『マダム、これが俺たちのメトロだ!』

インドで地下鉄整備に挑む  
女性土木技術者の奮闘記

経済成長にともなう都市化が進むインドでは、自家用車の急速な普及により交通渋滞や大気汚染などの問題が発生している。その対策の要となるのが、都市部と郊外をつなぐ地下鉄(メトロ)の整備だ。インド政府は1997年に日本の協力で始まったデリーメトロの整備を皮切りに、バンガロールやコルカタといった都市部でメトロの整備を進めている。本書の著者、阿部玲子は、プロジェクトの推進と統括を担う土木コンサルタントとしてインド各地の工事現場を担当。作業員が裸足で歩き回り、工期が当たり前のように遅れる規律を欠いた現場を、知恵と工夫を凝らして改善してきた。「女性に務まるわけがない」という周囲の不信を強いリーダーシップで乗り越え、着実にインドの人々の信頼を勝ち取っていった奮闘の日々が、豊富なエピソードとともに綴られている。



阿部玲子 著  
佐伯印刷  
1,620円(税込)

この本を  
1名様にプレゼント  
▼  
詳細はp.38へ